

2017-06 2017.10.17

2017 年 10 月 議事録

6 回目

平成 29 年 10 月 17 日（火） AM10~12:30 東児童館調理室

出席者：大竹（社協）会田（社協）長澤（ふ）山口（ふ・防災）谷澤（東 2 自警団・五十塚）笹澤（ふ）
長澤（支援員）半田（ふ）守谷（民）鈴木（民）

1. 報告

長澤（ふ）：本会の意義、目的、結論を模索すべく真瀬地区の資料を拝見⇒高齢者対応の組織だった。

「アイラブつくば」を聞きに行った⇒感想；様々なクラブ、団体が存在しているがそれぞれに単独の目的を持ち
小さな範囲で努力をしている。ボランティア活動は小さな目的をもって交流すべきでは？

守谷：活動については個別に小さく行っている。自警団、自治会を招集するのは活動を知ってもらい互いのコラボ
（協力）を導きたいがため

長澤：意図は理解できるが意図と目的は違う。大きくしすぎると目的がぼけてしまう。

山口：HP（スマホでも閲覧可）にとても段階的に表現を替えている「高齢者 & 助けを必要とする人」

つくば市の高齢者いきいきサロンも見える。防災訓練の情報は掲示板で進んでいる。

会合については現状で良く、事務局などが綿密に会合に参加していない他のグループに知らせていく必要がある
と思う。パトロール隊・自治会などいろいろな人が関わったほうが良いと思う。

谷澤：東 2 丁目自警団（第 3 土曜日 PM8～9、登録 20 名、常時参加者 7～8 名、コースはその日の気分で決
める）独居老人の名簿があったらそこを重点的に回れる。個人的にはゴミ出しなどに困っている人を見かけたと
きは手伝うし、笹澤さんのお手伝いも声がけがあればする。

笹澤：ふれあい相談員候補が見つかった♪篠原さん：体操と食育の指導経験者。愛犬の散歩コミュがある。
東 2 丁目の防災訓練にてふれあいサロンアピールを行ったが参加者が少なく効果は判らない。

長澤（支援）：2 件対象者があるので見守っている。対象者 O さんがデイサービスに行くときに手を振ってくれて可
愛い。S さんについては今回食べていないのではないかとという相談が支援員の高野さんからあり包括に行き
担当のケアマネを教えてもらい、面談。相談・情報交換（鍵・これまで & 現在の食事の様子・友人の影・病
気の程度 etc.）の後、互いの連絡先交換、困ったとき疑問は交換をすることで決。

会田（社協）：何かさらに困ったことがあったら担当ケアマネを巻き込んで会合を持つといい。それは前回 S さんの
庭で行われたケアマネ・担当事業所所長・長澤・高野・鈴木で行った井戸端会議が実は「小さなケア会議」と
呼んでよいもの。対象者に関わる種々の担当者が情報交換とともに対応策を検討するもの。

守谷：このケースは高齢者の虐待のひとつであるセルフネグレクトになるのか？

会田：違うと思う。自分の生活の中で好きなものは好き。嫌いなものには目を向けていないだけ。

半田：担当地域に多くの独居老人が掘り起こされてきている。アパートなどの共同住宅にこれまで手が付けられてい
なかった独居老人が多いことに驚いている。話好きなひとは 3 時間ほど話し、対応を考える。

つくば市では、これまで要支援 1 または 2 だった人が認定を受けずに受けられるらしい。だからアパートなどに対
象高齢者が移り住んできたのか？

会田：国がこれまで全て請け負っていたがこの春から要支援 1・2 については各自治体に任されてつくば市では「基本チェックリスト」への記載で判断している。自己申告に近く権利受給目的で使われると困ったことになるので本当に生活に困っている人を対象者としてほしい。

守谷：リタイアした男性高齢者が地域に入っていくためには？

谷澤：具体的な目的（趣味：詩吟、楽器、俳句、短歌 etc.）がいるのでは？

大竹：シルバークラブ（＝老人クラブ）はつくば市内では現在 139 団体 6700 人登録。谷田部地区 32 団体 高野台シルバークラブは 56 人登録。大きなコミュニティセンター利用（俳句・グラウンドゴルフ・健康マージャンなどが行われている。

ちなみに、～29 名⇒2 万円 30 名～49 名⇒56,700 円 50 名以上 62,600 円 毎年補助あり（うち 1 万円は 5 千円ずつ市 & 県に行事などの協賛金として上納）

見守り活動が始まったところから減少傾向だったシルバークラブが少しずつ増加傾向に代わってきた。

長澤：会議を行うならば目標を立てて一つあるいはそれ以上の結論と進歩・方向性が欲しい。

山口：積み重ねで得られる方向性も基調と思われるので一見無駄と思われるこの時間も今後には役立つのでは？

次回は 11 月 21 日（火） 10：00～児童館にて